スカイカップラー KX-2 取扱説明書

ＫＸ－２は，あなたのラジオとアンテナとの間に接続するだけで，アンテナとのインピーダンスマッチングを取り，中波から短波までアンテナでキャッチした電波を最高能率でラジオに送り込む画期的な装置です。

1. 特　　長

① 心臓部のコイルは，中波から短波バンドまでQの高い専用コイルを用いた本格派です。（これはＢＣＬとしてはミズホだけの特長です。

② カップラー回路はパイマッチ方式ですから，どんなアンテナやラジオにも使えます。

③ 一般の外部アンテナの他に中波帯トライアングルアンテナをオプションで取り付けられます。

2. 定　　格

周波数範囲	中波～短波（0.5～30 MHz）
バンド数	8バンド
入出力インピーダンス	50～600Ω
寸　　法	W 220 × H 66 × D 154 ㎜

3. 付 属 品

本　　体 ……1
接続コード ……1
取扱説明書 ……1

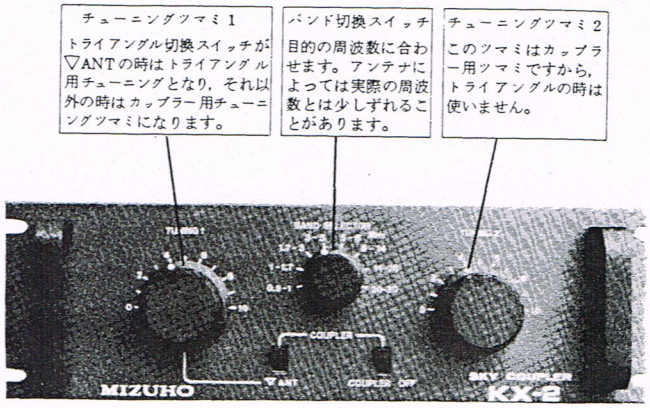
4. オプションキット

ＫＸ－２は中波帯トライアングルアンテナが取り付けられます。このトライアングルは別売しております。専用取り付け金具付きで，ネジ一本でＫＸ－２の後面パネルに取り付けられ，屋外アンテナとは違ったハイコンパクト高感度アンテナです。

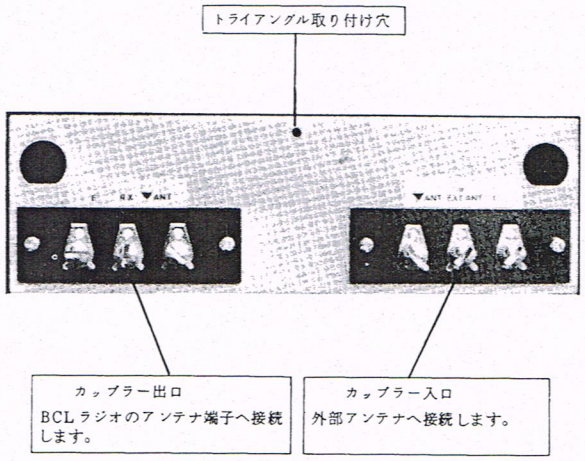
◎トライアングルアンテナ　Ｚ－２　　¥1,400
送料及び梱包料　　¥　500

5. ツマミ，スイッチ類の操作方法

（図－１）



（図－２）



6. ラジオとの接続（ロングワイヤーアンテナのように1本の線でラジオに給電する時）（図－3参照）

(1) 付属の赤黒コードのYラグの赤をKX－2のRXターミナルへ，黒い線をEターミナルにつなぎます。

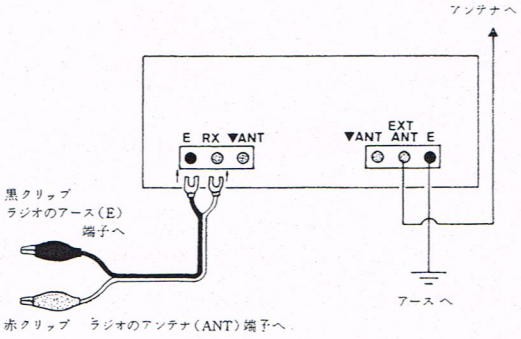
(2) このコードの赤色クリップをラジオのアンテナ端子，黒色クリップをラジオのアース端子につなぎます。

※ ラジオによっては中波と短波ではアンテナを接続する場所が違う時があります。この時は，中波を聞く時は中波の端子，短波を聞く時はラジオの短波アンテナ端子につないで下さい。

(3) アンテナ線をKX－2のEXT ANT端子へつなぎます。アースがある時は，アース線をE端子につなぎます。（アースがない人はアース端子には何もつながなくてもかまいません。）

(4) トライアングル端子（▽ANT）には，トライアングルアンテナを付けても付けなくても関係ありません。

（図－3） ロングワイヤーアンテナのつなぎ方



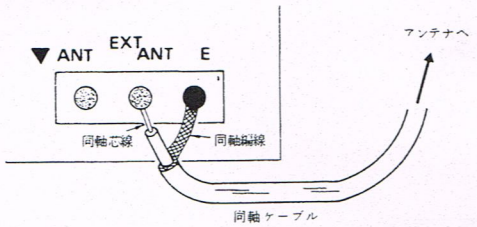
7. 同軸ケーブル給電アンテナの時（図－4参照）

(1) ラジオとKX－2の接続はロングワイヤーの時と全く同じです。

(2) アンテナからの同軸ケーブルの芯線をKX－2のEXT ANT端子へ，編線（周囲のシールド線）を同じようにE端子へつなぎます。

(3) トライアングルアンテナは付けても付けなくても関係ありません。

（図－4） 同軸給電の場合



8. KX－2の操作方法

操作方法は，トライアングルアンテナ以外はどんなアンテナでも同じです。

(1) ラジオのスイッチを入れて本機のバンドセレクタースイッチを聞きたい局の周波数が含まれているバンドに合わせます。使うアンテナによってはKX－2のパネルに印刷されている周波数帯と実際に最高感度になる周波数が少しずれる時があります。

(2) カップラーのスライドスイッチを二つ共カップラー（COUPLER）側に切り換えます。（上にする）

(3) カップラーのチューニングツマミの1と2（TUNING）を交互に廻して最高感度になるよう合わせます。もし最高感度にならずに0又は10になってしまう時は，バンドセレクタースイッチをどちらかに一段切り換えて最高感度になるように同様にチューニングツマミを交互に廻して下さい。

(4) カップラーを接続したままでアンテナを直接ラジオにつなぎたい時は，カップラーのスライドスイッチをカップラーオフ（COUPLER OFF）の側にすると，自動的にアンテナがカップラーを通らずにラジオへ直接つながります。

※ スライドスイッチが▽ANT側になっているとトライアングルアンテナ以外は使えませんから注意して下さい。

(5) ＫＸ－２ はパネルのスライドスイッチで，屋外アンテナ及びトライアングルアンテナの切り換えができます。

したがって，その都度アンテナをターミナルからはずしたりしなくても，そのまま使用できます。

9. トライアングルアンテナ時のツマミ操作

※ 普通の屋外アンテナの時は，カップラーのチューニングツマミの１と２を両方操作しますが，トライアングルアンテナの時は，チューニングツマミの１だけを操作します。

(1) ＫＸ－２ のパネルに付いているスライドＳＷ２ケをそれぞれ▽ＡＮＴ と ＣＯＵＰＬＥＲ ＯＦＦ の方へ切り換えます。（写真参照）

(2) ラジオのスイッチを入れて中波帯のどこか遠くの局をキャッチします。

(3) ラジオとトライアングルの面とを直角に置いてラジオにトライアングルアンテナを近づけて，ＫＸ－２のチューニングツマミ１（ＴＵＮＩＮＧ １）を廻して感度が一番良くなるように合わせます。

この他にアンテナとラジオの角度とか距離，位置についてもいろいろ実験してみて下さい。（図－５参照）

(4) 屋外アンテナを使ってカップラーを使う時は，カップラーのＲＸとＥ端子にラジオのアンテナ端子を接続しますが，トライアングルアンテナの時は，これらのラジオのアンテナ端子への接続は，あっても無くても関係ありません。

これはトライアングルアンテナが，ラジオに内蔵されているバーアンテナに空間で結合させて使うからです。

したがって基本的にはトライアングルアンテナはバーアンテナを内蔵していない通信型受信機には，そのままでは使えないので改造が必要です。

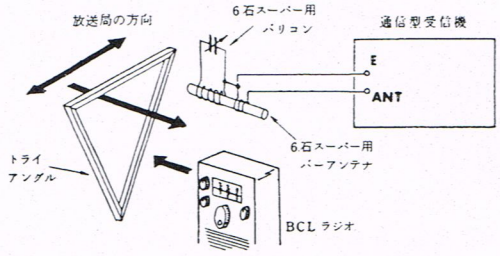
参考例を図－５に示しましたので参照下さい。

材料は，６石ラジオ等に付いている中波用バーアンテナとバリコンが必要です。

これらのバーアンテナは，普通アース線が，１次コイルと２次コイルの片側に共用になっています。

巻数の多い側のコイルの両端にバリコンをつないで，巻数の少ない側を通信型受信機の中波帯用のアンテナ端子に接続します。

（図－５）トライアングルとラジオの設置例



このようにしてバーアンテナを付加してトライアングルアンテナを使う時は，バーアンテナに付けたバリコンとＫＸ－２のチューニングツマミ１の両方で最大感度になるよう合わせて下さい。

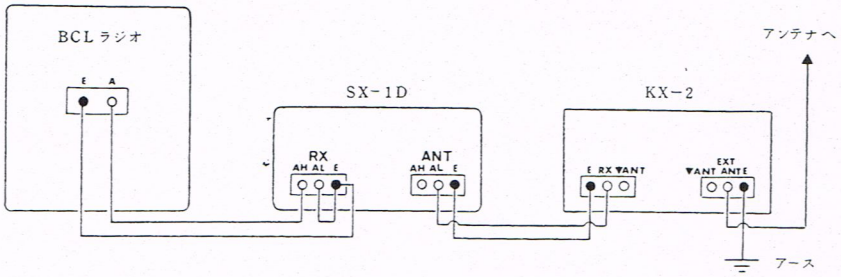
※ トライアングルアンテナは中波帯専用ですから短波帯には使えませんので御注意下さい。

またトライアングルについては付属のトライアングルアンテナ取扱説明書を参照下さい。

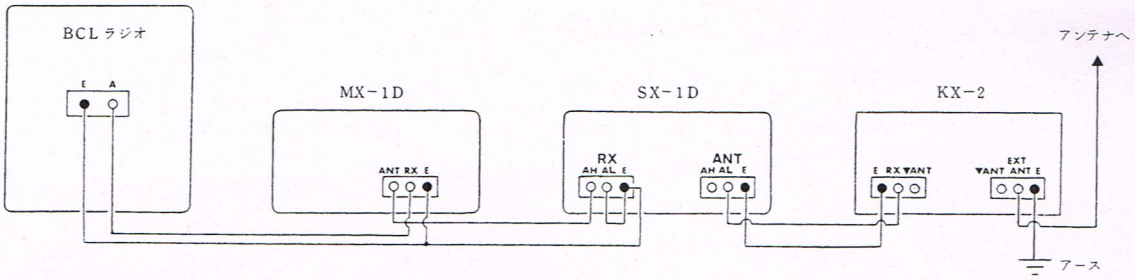
10. SX－1D及びMX－1Dとの接続例

(1) BCLラジオの場合

（図－6） SX－1Dとの接続例

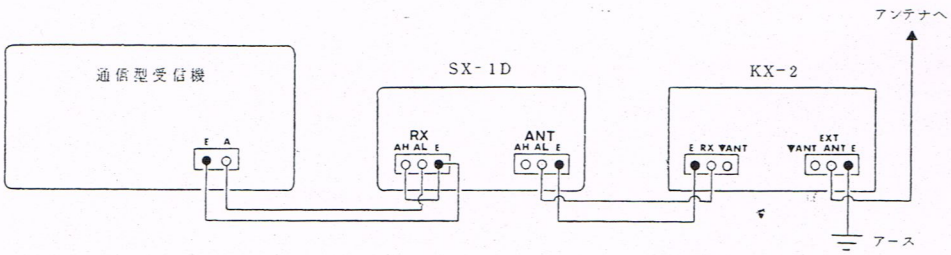


（図－7） MX－1D，SX－1Dとの接続例

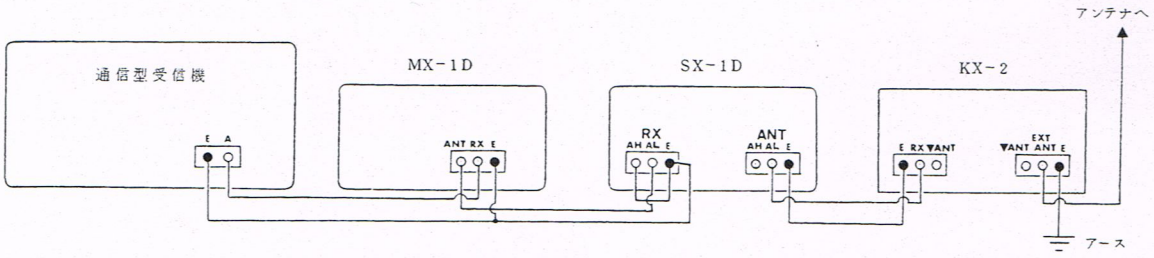


(2) 通信型受信機の場合

（図－8） SX－1Dとの接続例



（図－9） MX－1DとSX－1Dとの接続例



ミズホ通信株式会社

東京都町田市森野２－８－６
〒194 TEL 0427(23)１０４９

KX－1Dについての御質問はミズホ通信株式会社技術部へお願い致します。